

桐

花

大槌町立吉里吉里学園 小学部 通信 No16 令和5年12月11日 文責 藤井

吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右の QR コードを読むことによってカラー版をご覧いただくことができます。(大槌応援団サイトへ)→



ふるさと科の学習より

本校のふるさと科では、「地域への愛着を育む学び」「生き方・将来の夢や希望を育む学び」「防災教育を中心とした学び」の3つの領域での活動が行われています。今回はその中の1つ「地域への愛着を育む学び」での一コマをご紹介します。

1・2年生「郷土料理作り」

11月28日、地域の方から郷土に伝わるおやつ「金成(かねなり)団子」の作り方を教えていただきながら、一緒に団子づくりをしました。郷土料理のよさや作ることの楽しさを学ぶだけでなく、地域の方々との触れ合いの場にもなっています。







今回ご指導いただいたのは、前川笙子さん 北田章子さん 藤原栄子さん 谷地久美子さんの4名です。粉をこね、団子をつくり葉っぱの形に整形し、それをゆでて食べる体験をしました。しょうゆ味で美味しく味付けをしていただき、自分たちで作った団子に子ども達は舌鼓を打っていました。

6年生「新巻鮭作り」

大槌町の特産物である「鮭」をテーマにふるさとの漁業について学んでいます。5年生から海の学習を続けてきた6年生に一人一本の鮭を準備していただき、新巻作りに挑戦し体験を通して制作工程を学びました。







12月5日、元中学部PTA会長田中昭仁さん、婦人部の東谷幸子さん 前川静子さん 東谷陽子さん 黒澤 リエ子さんに教えていただきながら、鮭の腹割り・洗い・塩漬けの「山漬け」の方法を教えていただきました。子ども達は慣れない手つきながらも自力で塩漬けまで行いました。







12月8日、塩漬けした鮭の塩抜きをして干す作業を行いました。江戸時代はこうして作った新巻鮭が海を渡り江戸まで運ばれていたという話を聞き、海産物で栄えていた当時の吉里吉里の様子について体験を通して学びました。今年は鮭が不漁で鮭の確保が心配されましたが、女性部の東谷さんのご手配で実現する事が出来ました。ありがとうございました。3学期には鮭を使った郷土料理も教えていただく予定です。

新執行部所信表明演説会及び認証式

12月6日、令和6年度の児童会役員による所信表明演説と認証式が行われました。3年生以上の参加によるこの会では、新執行部役員が会長から順番に来年度の活動における自分の意見を述べました。その後他の児童から意見が述べられました。どの意見も前向きで「新しい執行部の皆さんと協力して、自分も頑張りたい」という内容でした。準備の中休みから先生の指示を受けなくても、準備に取り掛かっていた姿を見て頼もしく感じました。今年度の児童会の良さを引継ぎさらに発展させてくれることに期待したいと思います。



会長 田中 陽さん



副会長 北田 聖乃さん



副会長 平野 宗大さん



議長 中村 史唯さん



議長 倉本 杏希さん



書記 筑波 こはるさん



書記 佐藤 叶大さん



ぼくは、児童会長になったら明るく元気にあいさつをして、自分から行動できる学校にしたいと考えています。今の吉里吉里小学校はあいさつをしている人としていない人で分かれていると思います。だから、ぼくはあいさつ運動の取り組みや縦割り班遊びなどをして、自分の考えを言ったり、元気にあいさつができたりする学校にしたいと思います。ぼくがしたい学校にするためには、全校のみなさんの一つ一つの行動や考えが必要です。例えば、「地域の人に会ったら、元気よくあいさつをする」や「何か言いたいことがあったら発言する」などです。そういったことを日常から意識することで、ぼくの考えた明るく元気にあいさつをして自分から行動ができる学校に向かっていくと思います。ぼくがこの取組にした理由はもう一つあります。それは全校のみんなと絆を深めてもらうためです。全校のみんなと絆を深めると自分の考えがすらすらと言え、よい学校に向かっていくと思います。ぼく自身は明るいあいさつと自分から行動できる学校にするためあいさつをされてうれしいあいさつをし、きずなを深めるための取組を考えて取り組んでいきたいと思っています。

(児童会会長 田中 陽さん所信表明演説より)